

## おわりに

平成7年度、一年間の準備期間を経て情報教育委員会が発足しました。初年度は中予地区の役員4名をもって事務局が構成され、各原案作り等を行いました。また、8月には実技研修会を実施し、東・中・南予から多数の参加をいただき、「統合型ソフトウェアの利用によるコンピュータ操作技術の習得」をメインとする研修を行いました。平成7年はWindows95が発売された年であり、その後、飛躍的に学校現場にコンピュータが導入されることになった特別な年であったと言えます。それから22年。本年度の本委員会は「情報社会に主体的に生きる力を育む教育の研究と実践」を研究主題に、事務局14名で研究に取り組んできました。夏の研修会では、県武道館を会場として実践事例発表、講演、ワークショップ、パネルディスカッションと多様な研修を実施することができました。内容もコンピュータ等ICT機器活用の研修から、タブレット端末を活用した授業の研修へと方向が切り替わっていています。タブレット端末の導入が広がり始め、各支部の活動においても、それを活用した授業実践や公開授業、実技研修が盛んに行われるようになりました。本委員会でも、平成25年度よりタブレット端末を活用した授業実践研究を行っており、その成果を研究紀要や研修会で発表するなど、一歩先をあゆむ取り組みを行っています。微力ながら愛媛の情報教育の推進に貢献できていると信じております。

これまで23年間、「情報教育委員会」として活動を行ってまいりましたが、来年度より「視聴覚教育委員会」と合併し、「視聴覚・情報教育委員会」として新たなあゆみを始めます。インターネット社会となり、あらゆるものがインターネットに接続されるようになった昨今、視聴覚教育と情報教育の垣根も、明確なものがなくなってきていると言えます。両委員会のこれまでの研究の成果を合わせ、1+1が3にも4にもなるような活動となるよう、これからあゆんでいきたいと思えます。本年一年間の活動に対する皆様のご協力に深く感謝いたしますとともに、これまで情報教育委員会にご協力いただきましたすべての皆様にも感謝いたします。

平成30年3月

愛媛県教育研究協議会情報教育委員会